

**2019年1月号**

# かん動

## 議会活動

- 福岡市中央卸売市場開設運営協議会会長
- 第三委員会副委員長(農林水産局、経済観光文化局、港湾空港局 所管)
- 都市問題等調査特別委員会副委員長
- 文化・スポーツ振興推進協議会委員

**つつみだ 寛 プロフィール** (昭和37年生まれ)

昭和49年3月  
昭和52年3月  
昭和55年3月  
昭和60年3月  
平成16年～19年  
平成19年～22年  
平成22年～  
平成22年～26年  
平成26年～27年  
平成27年4月

舞鶴小学校卒業  
舞鶴中学校卒業  
福岡県立城南高校卒業  
西南学院大学卒業  
舞鶴小PTA会長  
舞鶴校区青少年育成会 副会長  
中央区青少年育成連絡会 会長  
舞鶴自治協議会 副会長  
舞鶴自治協議会 会長  
福岡市議会議員 初当選

**皆様と共に!  
地域を元気に!**

**動を市政に**

**福岡市議会議員[中央区]/自由民主党**

**つつみだ 寛**

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目2-26-203号(友栄ビル)  
TEL092-753-9324 FAX092-753-9159  
オフィシャルサイト▶▶▶ <http://www.kan-tsutsumida.jp>

**[答弁・教育委員会]**

\*教職員からは地産地消と食育推進の観点から歓迎する声が聞かれた。魚の献立は苦手な生徒も多いが、ぶりの照焼きは好評であった。

\*「かわはぎが福岡で獲れることを初めて知った」といった教職員の声や、「かわはぎの出汁だけではなく身も食べてみたい」といった児童の声があった。

\*「かわはぎが福岡で獲れることを初めて知った」といった教職員の声や、「かわはぎの出汁だけではなく身も食べてみたい」といった児童の声があつた。

\*水産関係者と協議を行つており、中学校に引き続き、小学校での提供実現に向け検討していく。

**要望(堤田寛)**

●家庭での和食文化の継承が難しくなった現代では、食育推進の観点から学校給食において、次世代に受け継ぐべき行事食や郷土食を地元の食材、地元の魚を出来る限り取り入れて提供していくべきだと考えます。

●本日いただいた答弁からも、教育委員会が積極的な取り組みをしていただいていることが分かりました。調理に手間がかかることなど、様々な困難があるとは思いますが、ぜひ小学校においても、中学校同様に市内産の魚の提供を実現するとともに、今後、さらなる利用拡大

に取り組んでいただくよう要望いたします。

**「待機児童解消に向けた取組み」について****質問(堤田寛)**

子育て世代の親が安心して子育てをし、子どもが笑顔で健全に成長することができる環境づくりを進めための取組みを進めています。

**【答弁:こども未来局長】**

\*中央区は保育所ニーズが高く、待機児童が多いにも関わらず、保育所の新設が進んでいません。その要因についてお尋ねいたします。(平成28年3月)

**質問(堤田寛)**

●福岡市は転勤族の多い都市として知られていますが、単身赴任ではなく「今度の転勤先は福岡の家族で引越したい」と言われるような環境を整えていくためにも、特に都心部においても保育所整備が進むよう、今後、市独自に有効な手段を講じる必要があると考えます。ご所見をお伺いします。

(平成28年3月)

\*保育ニーズを的確に踏まえ、工夫しながら必要な地域に保育所を整備できるよう取り組む。(博多駅地域における特区制度による都市公園の活用、中央区を対象に園庭要件を緩和など)

**【答弁:こども未来局長】**

\*地価が高いこと、まとまった土地がないことなど、土地の確保が困難なこと等により整備がなかなか進まないと考えている。

**【取組】**

●中央区では、皆様のご支援のおかげで、2018年に新しい保育施設を3カ所、開設するに至りました。

**【その後の取組み】**

●現在、保育士不足も深刻な問題になってしまっており、保育士の労働条件の改善にも積極的に取り組んでいます。施設と人材の両方を取り組まなければ待機児童問題は解消できないと考えます。

**地域のお困りごと、是非、つつみだ 寛へご相談ください。**

昨年、浜の町公園の再整備事業で、古くなった木を20本程切ることになった時のこと、地域の方から「知人が植えた想い出の桜の木を切らないでほしい」と連絡を受けました。結果、安全が確認された桜の木を残す方向にまとめることができました。

小さなことのようですが、市民の皆様のためにできることを行っていけばと思います。皆様のお住まいの地域でも、お困りのことがありましたら一度お話を聞かせください。

**福岡市議団、神戸・横浜港視察**

第三委員会副委員長(農林水産局、経済観光文化局、港湾空港局 所管)として、今後の博多港のクルーズ振興環境整備に向けて、神戸港・横浜港を視察しました。



# 市議会活動報告

議会質問 平成28年3月～平成30年9月



跡地活用についてどのように検討を進めていくのか。以上お尋ねします。

(平成29年6月)



竪子小学校跡地

**【答弁：住宅都市局長】**

\*竪子小学校跡地8,500m<sup>2</sup>の活用については、学校施設が担つていた地域行事の場や災害時の避難場所などの機能の継続的な確保をはじめ、福岡市民の貴重な財産という観点からも跡地の立地環境を活かし、地域や福岡市にとって魅力ある跡地の活用となるよう取り組んでいく。

市にとつて魅力ある跡地の活用となるよう取り組んでいく。

**【質問（堤田寛）】**

「竪子小学校跡地の有効活用」について

引き続き地域とも協議していく。

\*地域住民の声を反映された方針素案となつていて、地域から愛される跡地活用となつてほしい。

\*地域が跡地に関心を持つるようスピードに取り組みを進めてほしい。

\*事業者が広場と体育館を活用し、一定の利益を確保していく事が適切な維持管理につながり、ひいては地域のためになる。

\*広場や体育館について、事業者と地域が共に運営するなどの新たな取り組みが共創の実現となり、まちづくりのひとつの中であるのでないかなど。

○跡地活用会議において確認された方向性は以下の通り

\*跡地活用方針の素案に基づいて、今後は事業者公募に向けた検討を進めていくこと。

\*跡地活用の方向性として、跡地全体を民間に貸し付け、広場約3,000m<sup>2</sup>、体育館約400m<sup>2</sup>などの必須機能を確保し地域行事等の場や災害時の避難場所の継続的確保を図るとともに、教育、子育て支援、健康づくり、医療福祉の機能が導入され

**【質問（堤田寛）】**

「民間活力により広場等を継続する方策は以下の通り

\*立地特性を活かし広場や体育馆機能を包摂した提案を求めるとともに、事業実施に係る契約や協定の締結などを通じて継続的に機能を確保する。

\*跡地全体を民間事業者に貸し付けることで、計画書の趣旨を踏まえた地域行事等の場や災害時の避難場所の機能継続など、地域の意見を見踏みえた跡地活用の具体的な取り組みを実現していく考え方があります。

\*市においては、地域をはじめ跡地活用会議での意見をしっかりと受け止め、民間活力を最大限に引き出し、より良い跡地活用となるようスピーディ感をもつて取り組んでいます。

○跡地活用会議において確認された方向性は以下の通り

\*跡地活用方針の素案に基づいて、今後は事業者公募に向けた検討を進めていくこと。

\*跡地活用の方向性として、跡地全体を民間に貸し付け、広場約3,000m<sup>2</sup>、体育館約400m<sup>2</sup>などの必須機能を確保し地域行事等の場や災害時の避難場所の継続的確保を図るとともに、教育、子育て支援、健康づくり、医療福祉の機能が導入され

**【質問（堤田寛）】**

「学校給食における市内産水産物の利用促進」について

私はこれまで、地産地消と食育推進のために、学校給食で市内産の魚を提供すべきであると求めてきましたが、その点について改めていくつかお尋ねします。

●学校給食におけるこれまでの魚食普及のための取り組みについてお尋ねします。

●またその中でも特に、市内産の魚の提供の状況についても併せてお答えください。(平成30年9月)

●今後の公募に向けても、竪子小学校の跡地活用が地域や福岡市にとって魅力あるものとなるよう取り組んでいただきたいと要望いたします。

●今後の公募に向けても、竪子小学校では約40回、中学校では

**【質問（堤田寛）】**

「大名小跡地について」



るよう誘導し、地域や福岡市の魅力向上に資する跡地活用を図ること、など。

○民間活力により広場等を継続する方策は以下の通り

\*立地特性を活かし広場や体育馆機能を包摂した提案を求めるとともに、事業実施に係る契約や協定の締結などを通じて継続的に機能を確保する。

\*立地全体を民間事業者に貸し付けることで、計画書の趣旨を踏まえた地域行事等の場や災害時の避難場所の機能継続など、地域の意見を見踏みえた跡地活用の具体的な取り組みを実現していく考え方があります。

\*市においては、地域をはじめ跡地活用会議での意見をしっかりと受け止め、民間活力を最大限に引き出し、より良い跡地活用となるようスピーディ感をもつて取り組んでいます。

○跡地活用会議において確認された方向性は以下の通り

\*跡地活用方針の素案に基づいて、今後は事業者公募に向けた検討を進めていくこと。

\*跡地活用の方向性として、跡地全体を民間に貸し付け、広場約3,000m<sup>2</sup>、体育館約400m<sup>2</sup>などの必須機能を確保し地域行事等の場や災害時の避難場所の継続的確保を図るとともに、教育、子育て支援、健康づくり、医療福祉の機能が導入され

るよう誘導し、地域や福岡市の魅力向上に資する跡地活用を図ること、など。

○民間活力により広場等を継続する方策は以下の通り

\*立地特性を活かし広場や体育馆機能を包摂した提案を求めるとともに、事業実施に係る契約や協定の締結などを通じて継続的に機能を確保する。

\*立地全体を民間事業者に貸し付けることで、計画書の趣旨を踏まえた地域行事等の場や災害時の避難場所の機能継続など、地域の意見を見踏みえた跡地活用の具体的な取り組みを実現していく考え方があります。

\*市においては、地域をはじめ跡地活用会議での意見をしっかりと受け止め、民間活力を最大限に引き出し、より良い跡地活用となるようスピーディ感をもつて取り組んでいます。

○跡地活用会議において確認された方向性は以下の通り

\*跡地活用方針の素案に基づいて、今後は事業者公募に向けた検討を進めていくこと。

\*跡地活用の方向性として、跡地全体を民間に貸し付け、広場約3,000m<sup>2</sup>、体育館約400m<sup>2</sup>などの必須機能を確保し地域行事等の場や災害時の避難場所の継続的確保を図るとともに